



実践と研究を繋ぐ効果的な研究デザインと研究方法とは？—福祉・心理領域における組織コミュニケーション研究からの示唆

福祉・心理領域における実践と研究を繋ぐ効果的な研究デザインと研究方法をテーマに研究フォーラムを開催します。清宮徹先生には組織のリスクマネジメントを題材に質的研究法の一つである組織ディスコース研究法について、山口生史先生には、介護施設における質的・量的研究法による組織コミュニケーションについてお話いただきます。福山和女先生には実践と研究を繋ぐことをテーマに、山口麻衣先生には研究デザインをテーマに討論いただきます。

日時: 2013年 8月25日(日) 13:30~17:00
場所: ルーテル学院大学 トリニティホール 264号教室
<http://www.luther.ac.jp/>

■ プログラム ■

【講演】「組織におけるリスクマネジメント—組織ディスコース研究の立場から」
清宮 徹先生(西南学院大学文学部外国語学科 教授)

【講演】「介護施設における組織コミュニケーション研究—コミュニケーション・オーディットのための質的・量的研究法」

山口 生史先生(明治大学情報コミュニケーション学部 教授)

【討論】「実践と研究を繋ぐ: 研究の質の向上を目指して」

福山 和女先生(ルーテル学院大学大学院研究科長)

「福祉・心理領域における効果的な研究デザインと研究方法とは？」

山口 麻衣先生(ルーテル学院大学総合人間学部 准教授)

■ 申し込み方法等 ■

参加費: 無料 施設におけるスタッフ間のコミュニケーションに関心のある方、大学院生、これから研究を行いたい実践者、研究者等が対象です。

申し込み方法: 当日参加可能ですが、資料の準備の都合上事前申し込みをお願いいたします。

参加ご希望の方は、1.ご氏名、2. ご連絡先(メールアドレスか住所)をご記入の上、
8月21日(水)までに包括的臨床死生学研究所にご連絡ください。

●本フォーラムは、平成24~28年度 科学研究費補助金(基盤研究(B))、『介護施設におけるケアの質向上のためのコミュニケーション・オーディットの研究』(研究代表 明治大学 教授 山口生史)の研究成果の一部です。

主催: ルーテル学院大学大学院・介護コミュニケーション研究会

協力: ルーテル学院大学大学院附属包括的臨床死生学研究所

問い合わせ先: 包括的臨床死生学研究所 E-mail: cctc@luther.ac.jp